

## 株式会社 先端医療開発【医薬・医療】

- 本社 福岡県福岡市博多区下川端町 2-1 博多座・西銀再開発ビル 9 階
- おきなわ研究所 沖縄県うるま市州崎 5-8 沖縄ライフサイエンス研究センター

成分封入ナノ粒子で  
世界を変える

## 【事業概要】

当社は、独自の技術で様々な機能性成分封入ナノ粒子を開発しており、医薬品を基軸に機能性素材、健康食品など様々な分野へ展開しています。当社の従来の反応釜を使用する製法と違い、高品質なナノ粒子を安定して連続生産（大量生産）する事が可能です。素材を単にナノサイズに刻むのではなく、成分をナノサイズのカプセルに封入し、機能性を格段に向上させます。

## 【製品・サービス内容】

## ■革新的ナノ医療の実用化

様々な理由（強い副作用、効果不十分等）で開発を断念した化合物、特許切れの医薬品等をナノ粒子に封入して高効果・低副作用の新しい製剤としてよみがえらせることができます（ドラッグ・リポジショニング）。

九州大学、琉球大学をはじめ様々な大学と共同研究を進めておりパイプラインは心血管病、糖尿病、がん疾患、感染症など多様です。

## ①スタチン封入ナノ粒子製剤（九州大学）

対象疾患：重症虚血性疾患（閉塞性動脈硬化症による重症虚血肢、重症狭心症・心筋梗塞、脳梗塞など）

## ②シクロスポリン複合剤封入ナノ粒子製剤（九州大学）

対象疾患：急性心筋梗塞、脳梗塞など

## ③γ-オリザノール封入ナノ粒子製剤（琉球大学）

対象疾患：肥満、インスリン抵抗性、糖尿病、脂質異常症

## ④2DG 封入ナノ粒子製剤（川崎医科大学）

対象疾患：固形がん

## Sentan Foodicle™

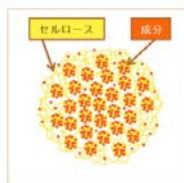
世界初！食べられる封入ナノ粒子誕生！

Sentan Foodicle（センタンフーディクル）とは…

機能性成分を効率的に摂取できる安心安全素材の成分封入ナノ粒子ナノサイズに粉砕しただけのナノ粒子とは特性が全く違います。



難溶性の成分を当社独自の技術で非結晶状態にすることで、原体よりも格段に溶解性と吸収性を向上させました。



Foodicle モデル図

- 代表者 代表取締役 松原 正東
- 設立 2007年2月8日
- 資本金 22,140万円
- 従業員 26名（うち研究員10名）  
（2018年1月現在）
- 電話 092-271-5508
- FAX 092-282-1164
- e-mail imamura@sentaniryoku.co.jp
- HP-URL http://www.sentaniryoku.co.jp
- 連絡担当者 経営企画室 今村 恭子

## ■世界初！食べられる封入ナノ粒子「Sentan Foodicle」™

世界で初めて、食品添加物のみを用いた食べられる封入ナノ粒子「Sentan Foodicle」の開発に成功し、特許を出願いたしました（PCT/JP2017/30493）。「Foodicle」は「food（食べ物）」と「particle（粒子）」を合わせた造語です。発がん性の恐れがあるといわれている亜硝酸ナトリウムを一切使用しない発色剤代替色素素材として、安心・安全のベニコウジ色素フーディクルを開発致しました。

明太子、ハム・ソーセージなど幅広い展開が見込まれ食品メーカー様からも多数のお問い合わせを頂いております。

## ■ゲノム解析事業

平成29年4月、一般社団沖縄総合科学研究所が実施してきたゲノム解析事業（設備・技術・人材）を沖縄県の承諾を得て承継いたしました。具体的には、次世代シーケンサー設備一式（パックバイオ、イルミナetc）、十分整備された高精度遺伝子解析技術システム、および専門技術者を確保し、世界中からのゲノム解析の受託をこれまでと同様に継続して行います。



「成分封入ナノ粒子」創薬事業を基軸として様々な分野へ応用



世界で初めて安心・安全の「食べられるナノ粒子」を開発